

鳴神天花

春にほころぶストーリー

やわらかな貴方が大人になっていく

同じ身体からだだったのに

貴方だけまあるく内包していく

わたしはきつと、まだこどもでしかいられないのだ

やわらかな貴方のことを

わたしは知っている

だからきつとはじめましてと挨拶したときから

貴方のことを伝えようと物語をつくるのだ

絵は描けないけれど

貴方が主人公の物語をつくるのだ

わたしと

同じ身体だった貴方が

わたしを置いて大人になっていく

それが寂しいなんて

今だけは言わないでいるから